

東地区地震防災講習会の開催！

東地区コミュニティ運営協議会では、地震防災対策の一環として、コミ合同研修会で東地区地震防災講習会を開催しました。東地区の7地区の役員をはじめ、東地区の防災士連絡部会と連携し、地震防災講習会を開催しました。

今回は、第1部に九州大学の三谷教授に【地震に強いまちづくり】と題して、地盤や福岡県の地震防災アセスメントなどについて講話をお願いしました。

第2部では、博多あんあんリーダー会の小森さんを講師にお招きして、【地震発生から24時間、地域はどう動く？】をテーマに、ワークショップを行いました。また、市役所の粟津主査にも参加してもらい、地震被害の解説や注意事項などの説明を受けました。

これからも地震対策、平常時の対策、避難所の対策、要支援者の対策などを、皆さんと一緒に考え、東コミの地震防災計画を作っていきたいと考えています。



◎東地区地震防災講習会プログラム

第1部 基調講演 テーマ【地震に強いまちづくり】

講師：九州大学工学研究院附属アジア防災センター
三谷 泰浩 教授

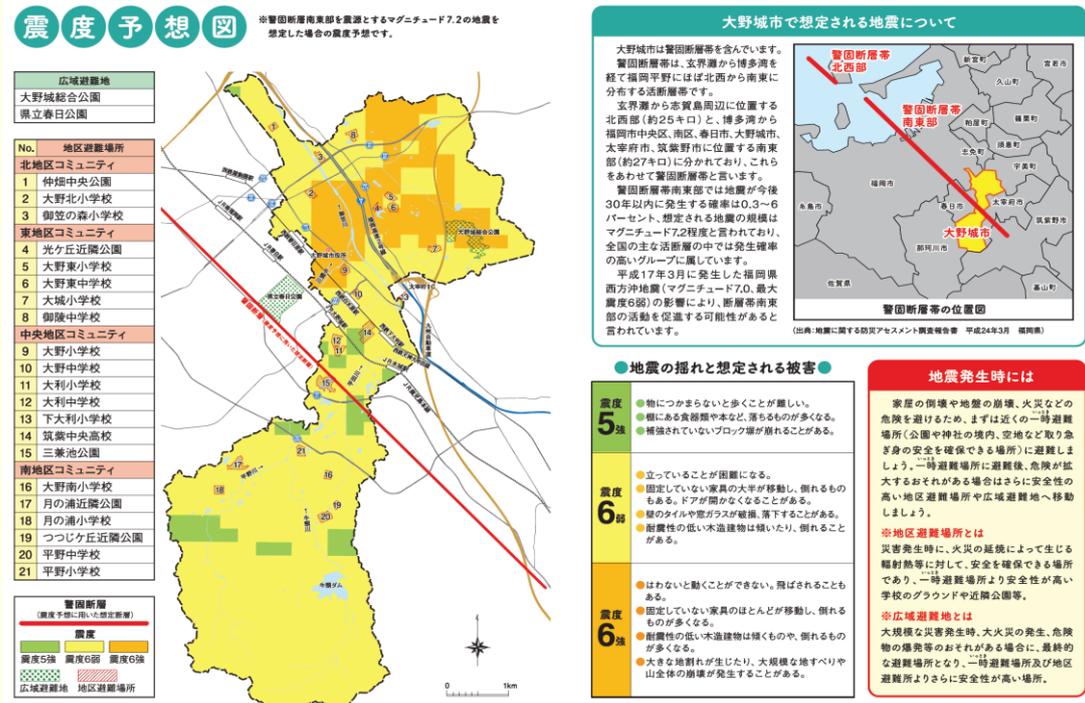
第2部 ワークショップテーマ【地震発生から24時間、地域はどう動く？】

講師：博多あんあんリーダー会
防災士 小森 勝輝氏
市役所危機管理課 粟津主査

※ 参加者で、24時間のタイムラインづくりを実施。
24時間を4つの時間帯に分けて、それぞれの項目について考える。

大野城市震度予想図

m市



福岡県の地震防災アセスメントの経緯

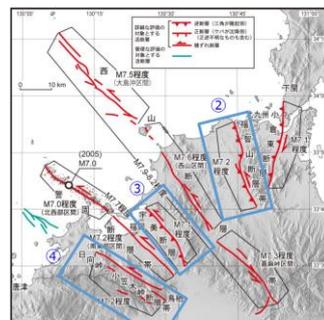
これまでの防災アセスメントにおける想定地震

地震に関する防災アセスメント調査の実施年度	想定地震	契機
H7～8年度	小倉東断層による地震	平成7年 兵庫県南部地震
H18年度	西山断層帯による地震	平成17年 福岡県西方沖地震
H23年度	警固断層帯による地震	
	水縄断層帯による地震	平成23年 東日本大震災
	各市町村毎の直下型地震	

新しい防災アセスメントにおける想定地震

<想定対象地震>：既往の調査で被害想定をしていない活断層等による地

- ① 南海トラフ地震
- ② 福智山断層帯による地震
- ③ 宇美断層による地震
- ④ 日向峠－小笠木峠断層帯による地震



【ワークショップ資料】

24時間で「起こること」「地域が出来ること」(例)

時間帯	想定される状況	地域が出来ること(例)
0～1時間	混乱・情報不足・初期避難	安否確認、初期消火、通報、危険箇所の把握
1～6時間	夜間対応・余震・避難所開設	高齢者支援、避難誘導、簡易トイレ設置、情報収集
6～12時間	避難所の安定化	物資整理、役割分担、要配慮者ケア
12～24時間	地域の継続対応	情報共有、炊き出し、見回り、心のケア

まとめ

今回は、東地区の合同研修会として、7区の役員や東地区の防災士に集まっていた
だき、地震防災講習会を実施しました。

現在、日本中で頻繁に発生している地震に、地域がどの様に対応していくべきなの
か、また市役所などの公的機関が対応できないところをどうやって地域が協力して対
応していくべきなのかを考えなければなりません。

東地区コミュニティ運営協議会では、各区の役員や防災士と協力して、東地区の多く
の方々に、地震が発生した場合の被害を最小限に抑えられるような活動を、7区ととも
に推進してまいります。

